

訪問リハビリテーション計画書の目標設定からみる「活動」と「参加」項目を含んだ文章解析 -平成 27 年度介護保険改定を受けての前年度との比較-

研究の概要

平成 27 年度の介護保険改定より、「活動」と「参加」に焦点をあてたりハビリテーション（以下、リハビリ）の推進が示され、年度を通して、「活動」と「参加」に資する終了、つまり、質の高いリハビリの提供を行った事業所には「社会参加支援加算」が算定可能となった。

「活動」と「参加」に焦点をあてたりハビリの推進には、マネジメントや具体的な目標設定が重要であり、当院訪問リハビリ事業所では、介護支援専門員が作成する居宅サービス計画書を基にリハビリ計画書を作成し、利用者だけでなく、家族や他職種とも目標の共有を行っている。

介護保険改定から 1 年が経過し、当院訪問リハビリ事業所のリハビリ計画書内容について、2 年間のデータを後ろ向きに調査し、世界保健機関（WHO）が提唱している国際生活機能分類（ICF）の「活動」と「参加」項目の増加や終了要因についての関連を文章解析し、比較検討したい。

研究対象

平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで当院訪問リハビリを利用し、目標達成により終了に至った利用者と、平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月まで当院訪問リハビリを利用し、目標達成により終了に至った利用者のリハビリ計画書を用いる。

研究の意義

「活動」と「参加」に焦点をあてた目標設定の共有を他職種とも行いやすくすることにより、ケアマネジメントの円滑化を図ることが可能となる。

研究の方法

既已取得しているリハビリ計画書を元に 2 年間の情報を後ろ向きに調査し、文章解析後、比較検討を行います。

研究責任者氏名

本研究は、主体会病院在宅医療福祉部に所属する理学療法士 中猛則 が担当いたします。

使用データ：リハビリ計画書の目標設定欄。

共同研究機関：なし

個人情報に対する配慮

当事業所ご利用中に定期的に評価させて頂いたリハビリ計画書をもとに研究利用させていただきます。事業所内に保管している利用者様の個人情報及び研究に利用するデータは、事業所外に出ることがないように厳重に保管しています。なお、研究結果については秘密を厳守し、研究の結果得られるいかなる情報も研究目的以外に使用することはありません。

使用するリハビリ計画書に関する利用者様、ご家族様が、この調査研究へのデータの利用を同意されない場合には以下の連絡先までご連絡頂けましたら、その方のデータは本研究に利用しないように致します。

研究計画書及び研究方法に関する資料の入手・閲覧方法

研究計画書及び研究方法についてお知りになりたい場合には、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で資料の提供または閲覧していただくことができるようにいたします。

照会先および研究への利用を同意されない場合の連絡先

〒510-0823 三重県四日市市城北町 8-1

TEL:059-354-1771 FAX: 059-350-2335

主体会病院在宅医療福祉部 理学療法士 中 猛則